

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日  
平成 30 年 4 月 16 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, and 法令根拠. Includes details for '高齢者クラブ助成事業' and '高齡者福祉の推進'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about the elderly club support program.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図, and various indicators (活動指標, 対象指標, 成果指標) with data for 28-32 years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input costs (事業費) for 28, 29, and 30 years, categorized by source (国庫, 県, 地方債, etc.) and personnel costs.

Table showing internal costs (事業費の内訳) for 29 and 30 years, including '19 負担金補助及び交付金' and '合計'.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content (実施内容) for 30, 31, and 32 years, with a note to describe the main activities.

事務事業名	高齢者クラブ助成事業	事務事業No.	10601000004	所属課	高齢福祉課
-------	------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	県補助事業として地域の高齢者の生きがいと健康づくりに寄与するための活動助成されている。高齢化に伴い、対象者人口は増加しているにも関わらず加入者は減少している。また、補助金の単価を平成22年より、「人数割補助単価@500→@450」へと減額している。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	地域高齢者クラブからは、クラブ加入者が高齢(80歳以上が大半)のため、事務手続きは変わらないのに補助金の配布金額が少ないことや事務手続きが面倒など、行政とのやり取りが困難になってきているという声がある。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	桜川市の今後について総会等で地域に認識していただくための周知活動を行う必要がある。
改革改善を行う	

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	各地区の高齢者クラブの活動を支援することは、高齢者福祉の向上に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	高齢者の生きがいづくりのために各地区高齢者クラブの自主活動を支援することは、高齢者福祉の活動向上を図ることになるために妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	高齢者の生きがいづくりとしての目的は果たしている。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	地域での高齢者の活動の場がなくなり、地域社会での交流が失われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	地区単位で構成されている団体であるため、他に手法がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	活動支援のための事業費であるが、H22年度に県補助金減額に伴う補助金算定単価の見直しをしているが、高齢者数の増加に伴い、団体の担う役割は増えているため、事業費削減は厳しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	各行政区単位の高齢者クラブを対象としているため、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																				
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	超高齢社会に向けた地域の支え合い活動の強化が重要であるため、10年後の桜川市の現状を知ってもらうと共に高齢者クラブの役割は大きい。																				
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr><th></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr><th rowspan="3">成果</th><td>向上</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr> <tr><td>低下</td><td></td><td></td><td>×</td></tr> </table>	コスト				削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下			×
コスト																					
	削減	維持	増加																		
成果	向上	○																			
	維持			×																	
	低下			×																	
地域に住む高齢者の意識改革 高齢者クラブ会員の若返りを図るためには、「元気な高齢者がそうでない高齢者を支える」という意識啓発と仕組みづくりが必要であり、行政から意識啓発を促すような説明・広報を行うようにする。	(6) 事務事業優先度評価結果																				
	成果優先度評価結果																				
	コスト削減優先度評価結果																				

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> A B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>